

上沼の森植樹会に参加

令和5年8月18日(金)、米代川源流自然の会（宮野和秀会長）主催による「上沼の森植樹会」が鹿角市花輪の柴内山国有林で行われ、当署から職員2名が参加しました。

米代川源流自然の会では、かつて市営牧場だった「上沼牧野」跡地を広葉樹の森に復元し、水源のかん養や土砂崩壊防止に貢献したいと願い、平成17年からこれまで16,700本を植樹しています。今回は、関係者や市民のほか、鹿角市との交流事業で来市中の東京都葛飾区よつぎ小学校の児童や引率の教員等を含め、総勢約70名が参加しました。

開会式では、主催者の宮野会長や来賓からの挨拶に続き、植樹方法や使用する道具の使い方などについて説明が行われ、その後それぞれに分かれていよいよ植樹を開始。



開会式の様子



参加者による植樹作業

この日は、開会直前から晴天となりかなり蒸し暑くなったため、参加者たちはタオルで汗を拭きながらブナ、ミズナラ、ナナカマド、オオヤマザクラなどの広葉樹900本の苗木を、1本ずつ丁寧に植樹していました。植樹終了後は来賓と小学生が力を合わせて記念標柱を埋設し、植樹会は無事終了しました。

こうした取組により、米代川源流の山がかつての豊かな森林に復元するよう、今後も協力していきたいと思います。



植樹した場所に記念標柱を設置



1本ずつ丁寧に植樹された広葉樹